

# 信仰奨励章

## Note Book



日本ボーイスカウト大阪連盟

\_\_\_\_\_ 地区 \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団

\_\_\_\_\_ 隊 \_\_\_\_\_ 班

氏名 \_\_\_\_\_

日本連盟教育規程1-21 信仰の奨励

本連盟は、本運動に参加する者が明確な信仰をもつことを奨励する。

◇ ちかい

私は名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

- 一. 神(仏)と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
- 一. いつも、他の人々をたすけます。
- 一. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

◇ おきて

- 1. スカウトは誠実である
- 2. スカウトは友情にあつい
- 3. スカウトは礼儀正しい
- 4. スカウトは親切である
- 5. スカウトは快活である
- 6. スカウトは質素である
- 7. スカウトは勇敢である
- 8. スカウトは感謝の心をもつ

課目1.

初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。

現在の級 \_\_\_\_\_

認定日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 認定 \_\_\_\_\_

課目2.

隊集会やキャンプ・ハイキングでスカウトオン・サービスに参加する。

回 \_\_\_\_\_月／日 参加した集会名 \_\_\_\_\_ 場所 \_\_\_\_\_

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

認定日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 認定 \_\_\_\_\_

課目3.

スカウトオン・サービスで、自分ができる役割を果たし、ちかいとおきてを日常で実践したこと、感じたことを発表する。

実施年月日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

実施場所 \_\_\_\_\_

発表の簡単な内容

.....

.....

.....

.....

.....

認定日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 認定 \_\_\_\_\_

課目4.

隊集会やキャンプ・ハイキングでのスカウト  
ウンで主要な役割を果たす。

参加した集会名 \_\_\_\_\_

実施年月日 \_\_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日

実施場所 \_\_\_\_\_

役 割 \_\_\_\_\_

簡単な内容 .....

.....

.....

.....

.....

認定日 \_\_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日 認定 \_\_\_\_\_,

課目5.

「アンノウスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形  
式(劇、紙芝居など) で隊の仲間や他の人々に伝  
え、自分の「日々の善行」の実践のようすについて話  
す。

実施年月日 \_\_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日

実施場所 \_\_\_\_\_

表現の形式 \_\_\_\_\_

伝えた相手 \_\_\_\_\_

話した内容(簡単に)

.....

.....

.....

.....

認定日 \_\_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日 認定 \_\_\_\_\_,

課目6.

班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。(ターゲットバッジ「近隣奉仕」5と共通)

考えた奉仕活動 \_\_\_\_\_

実施記録

月/日 実施した事 \_\_\_\_\_

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

認定日 \_\_\_\_\_年\_\_月\_\_日 認定 \_\_\_\_\_

課目7.

自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウトOWNに参加する。

参加年月日 \_\_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日

参加場所 \_\_\_\_\_

参加した宗派 \_\_\_\_\_

参加した行事 \_\_\_\_\_

感想

.....  
.....  
.....  
.....

認定日 \_\_\_\_\_年\_\_月\_\_日 認定 \_\_\_\_\_

課目8.

自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の教導職から信仰や宗教について話を聞く。

年月日 \_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日

場所 \_\_\_\_\_

宗派 \_\_\_\_\_

教導職 \_\_\_\_\_

聞いたことの内容(簡単に)

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

認定日 \_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日 認定 \_\_\_\_\_,

課目9.

B-Pのラストメッセージを読んで、班集会で話し合う。(ターゲットバッジ「B-P」6と共通)

年月日 \_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日

場所 \_\_\_\_\_

話し合った事

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

認定日 \_\_\_\_年 \_\_月 \_\_日 認定 \_\_\_\_\_,

スカウト諸君

「ピーターパン」の劇を見たことのある人なら、海賊の首領が死ぬときには、最後の演説をする。

ひまはないにちがいないと思って、あらかじめその演説をするのを、覚えているであろう。私もそれと同じで、今すぐ死ぬわけではないが、その日は近いと思うので、君たちに別れの言葉をおくりたい。これは、君たちへの私の最後の言葉になるのだから、よくかみしめて、読んでくれたまえ。

私は、非常に幸せな生涯を送った。それだから、君たち一人ひとりにも、同じように幸福な人生を、歩んでもらいたいと願っている。

神は、私たちを、幸福に暮らし楽しむようにと、このすばらしい世界に送ってくださったのだと

私は信じている。金持ちになっても、社会的に成功しても、わがままができて、それによって幸福にはなれない。幸福への第一歩は、少年のうちに、健康で強い体をつくっておくことである。そうしておけば大人になった時、世の中の役に立つ人になって、人生を楽しむことができる。

自然研究をすると、神が君たちのために、この世界を、美しいものやすばらしいものに満ち満ちた、楽しいところにおつくりになったことが、よくわかる。現在与えられているものに満足し、それをできるだけ生かしたまえ。ものごとを悲観的に見ないで、なにごとにも希望を持ってあたりたまえ。

しかし、幸福を得るほんとうの道は、ほかの人に幸福を分け与えることにある。この世の中を君が受け継いだ時より、少しでもよくするように努力し、あとの人に残すことができたなら、死ぬ時が来ても、とにかく自分は一生を無駄に過ごさず、最善をつくしたのだという満足感をもって、幸福に死ぬことができる。幸福に生き幸福に死ぬために、この考えにしたがって、「そなえよつねに」を忘れず、大人になっても、いつもスカウトのちかいとおきてを、堅く守りたまえ。神よ、それをしようとする君たちを、お守りください。

君たちの友

ベーデン -バウエル・オブ・ギルウェル



信仰奨励章 全課目終了

認定日 \_\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

認定者(隊長) \_\_\_\_\_ 印